

山陰放送 様

LDX Compact Premiere 納入事例

株式会社 山陰放送
<http://www.bss.jp/>

山陰放送様は、非常に歴史のある放送局で 1954 年にラジオ放送局として開局し、1959 年にテレビ放送を開始しました。

『Inter BEE 2013』にて展示された LDX Compact カメラの実機をご覧いただき、数あるカメラの中からグラスバレーを選んでいただきました。2014 年 3 月から ANN ブースの顔出しカメラとして運用を開始されました。



◇グラスバレー製品を選んだきっかけ

長年に渡りグラスバレー製品を使用しており、大変満足していましたので、新しいカメラを検討した際に、グラスバレーのカメラを試してみる事は自然な事でした。コンパクトな筐体にも関わらず、高い画質が得られ、すぐに気に入りました。

◇今後のカメラ更新時はグラスバレー社も検討

やはり一番の特徴である S/N 比が大変優れているのでインカムやトータルシステムとの提案で考えられれば非常に良いです。



株式会社 山陰放送
管理総局技術管理部 部長 秋山 長夫 様

◇カメラリモートについて

日本のカメラリモートは 1 対 1 が主流ですが、グラスバレーのカメラリモートは 1 対 n です。中継車など、多くのカメラリモートが並ぶ状況がありますが、グラスバレー社のカメラであれば、少ない台数で対応する事が出来るのも魅力です。

◇黒の質感が明確に良くなりました。

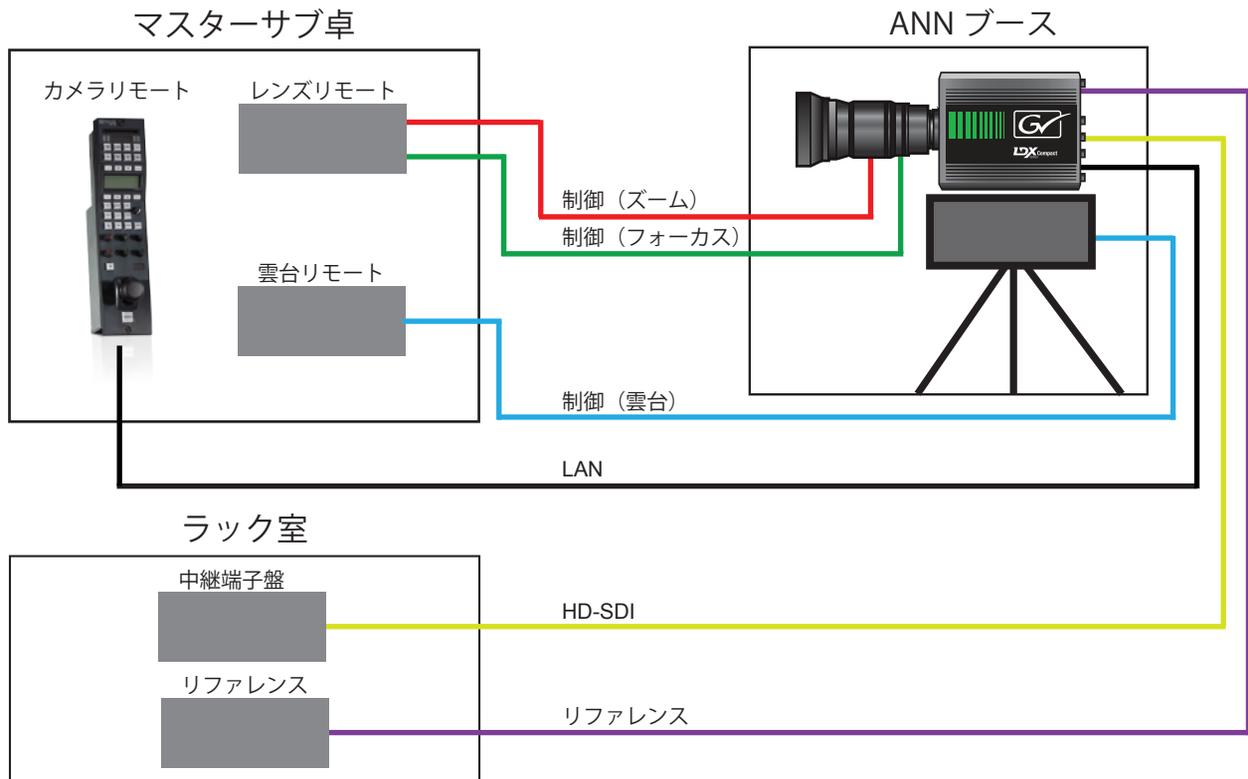
同じスタジオでも黒の質感が明確に良くなりました。これは、いたずらに解像度やディテールを追い求めるだけではなく、すべてのプロセスを通して被写体本来の持つテクスチャー情報を保持する技術 (TrueTexture™) を使っているとの説明を受けました。確かに、S/N の良さとも相まって、暗部がベタリする事もなくしっかりと質感が表現できていると思います。

スタジオカメラの性能をこのサイズのボックスカメラで出せているのはすごいですね。ヘッドの光学系や電気系は全く同じということなのでいじる幅も広そうです。これからいろいろといじって行きたいと思います。

◇高画質で S/N が非常に良いです

S/N 比が非常に優れているので (60dB)、現状の照明設備を変更する必要がなく、問題なく映っているので大変助かっています。





◇アナウンサーからも高評価です

HD化されたばかりの頃は、SDの画質が荒く感じました。しかしHDに慣れてくると、HD化初期に導入したカメラでは満足されなくなってきました。そこに「LDX Compact」の案内を受け、InterBEE 2013で展示された「LDX Compact」の実機を確認し、疑問点を全て解消する事ができたので、局内での導入の後押しをする事出来ました。



株式会社 山陰放送
管理総局技術管理部 森下 直樹 様

◇LDX Compact の主な特徴

- ・ガラスバレー Xensium-FT センサー
→第三世代の自社開発 CMOS
→CMOSの欠点だったローリングシャッター効果、フラッシュバンド効果を克服。スミアレス。
- ・感度
→F11 (1080/59.94) / F12 (1080/50)
- ・S/N比
→60 dB (typical)
64 dB (ハイクオリティモード)
- ・True Texture™
→すべてのプロセスを通して、被写体本来の持つテクスチャー情報を保持。
- ・RGB4:4:4 出力 (オプションライセンス)
- ・ライセンスによる上位グレードへアップグレード
- ・信頼性
→あらゆるものを堅牢性を念頭に置いて設計。
→開発段階において、HALTテスト手法を採用。
HALT=Highly Accelerated Life Test(高加速寿命試験):
従来の耐久試験と異なり製品が壊れるまでストレスをかけることにより、開発段階で弱点を発見し、改良していくことが可能な試験手法

●予告なく仕様または外観の一部を変更する事があります。●ガラスバレー製品の名称はGVBB Holding S.a.r.lの商標または登録商標です。●その他の商品名は各社の商標または登録商標です。

最新の製品情報はホームページで	http://www.grassvalley.jp/
ご購入前のお問い合わせは (カスタマーメールサポートへ)	http://www.grassvalley.jp/ask

●取扱代理店



●神戸本社：〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー 19 階
●東京本部：〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-12-8